

Vitz Challenge ハリキツテ出走準備中

『TRDヴィッツチャレンジ』は、トヨタテクノクラフト（TRD）が、手軽に参加して楽しめるラリーイベントとして提案しています。内容は、タイムアタック（SS＝スペシャルステージ）を林道・ミニサーキット・ジムカーナコース・ダートトライアルコースなどに設置し、スタート会場よりSS会場までを地図（ロードブック）に従い時間内に走行するルールです。

07年度から、1500ccのヴィッツRS（NCP91）も加わり、SCPIO

二人の共同作業で行うラリー競技は、友人や家族と楽しむことができ、朝から夕方までの1日中モータースポーツを満喫できるのが、このヴィッツチャレンジです。

当校も、今年より学校同士で競う学生対抗クラスが新設されたことにより参戦



の話が持ち上がり、参加車両の手配や予算の工面などを済ませ、いよいよシリーズ第5戦から参戦の運びとなりました。まず6月28日にシリーズ第3戦彦科へ見学に行きました。ラリーを肌で感じ、参加者の楽しそうな姿や和気あいあいな雰囲気伝わってきました。

参加希望学生11名でスタートしたこの活動も話が具体化するにつれ人数が増え、現在は22名となりました。

9月20日の第4戦には職員がドライバー、学生がコ

ドライバーで参戦し、下見を済ませ最終戦となる第5戦には本気で参戦していくこととなりました。

まずは車両整備そしてジムカーナなどの練習走行で車両に慣れ、10月25日の第5戦に臨んでいきます。集まった学生達も全員ラリー未経験者ですが、経験を積み、車が好きでたくましい人材になってくれると思いますので、皆さんも力強い声援を送って下さい。

SUGOミニバイクの時間耐久レース参戦 研究科 井上 千彰



日の走行練習時も雨天だったので焦ることも無く、バイクのセッティングも十分にさせていたことで、無事に完走する事が出来ました。

結果は、クラス28台中7位で過去最上位でした。

苦勞して整備したバイクでガムシヤラに走り、好成績も残せ、達成感も格別なひと夏の経験となりました。

当日は朝まで雨が降り、予選時は路面が濡れていましたが、決勝前に急に晴れ渡り、ドライコンディションでのスタートとなりました。

順調に周回を重ねていると、再び雨が空から...。しかし前



自転車部 富士登山



2年 中塚 淳史



1年 崔 仁哲

初めは、頂上まで登り切れるか不安でしたが何とか頂上まで登ることができました。

頂上では、いつも見上げていた雲がずっと下の方にあり感動しました。

最後尾で下山し、仲間を迎えられた時には自分はやり切ることが出来た、自分もやればできるんだ！と自信がつけました。

日本の象徴であり、また私にとつて憧れの山であった富士山への登山に挑戦しました。

7合目からは空気が薄く、辛くて諦めようと思いましたが、これは自分との戦いだと思って頂上まで登りました。

一緒に登ったメンバーの中で一番遅くなりましたが、この登山は人生観が変わる良い機会になったと思います。

自動車整備科生、栗野君はチューニングショップのオーナー！ ショップのあるアメリカの車事情を紹介してもらっちゃいました！



自動車整備科1年 栗野 芳紀君

アメリカでは、日本のような車検制度は無く、排気ガステストを\$15で行い、合格すれば運行が認められます。

その為、民間の自動車整備工場は比較的少なく、自動車メーカーが主に一般整備を行っていません。一般の家庭では、休日にお父さんがちよつとした自動車メンテナンス（エンジンオイルやオイルフィル

タ交換、ブレーキパッド交換等）をしていることが多いです。その為、お客様がショップに求めるものはそれ以上のプロの仕事が主です。

アメリカではカーショーやカーレースが大変盛んです。西海岸ではドラッグレースやドリフト等、東海岸ではジムカーナ、インディー、デイトナ等が主流です。6月頃から10月頃まで、毎週末様々なイベントが行われています。

私が代表を務めるインテックレーシングは、アメリカのワシントン州シアトルで、主に日



本車を中心とした車両部品製作・販売や、車両製作、整備等を行っています。お客様の要望を出来る限り聞き、バランス（操縦性）の良い、安全な車を提供しています。また、現在各社スポーツカーの好意で、ドラッグレース、ツーリングカーレース、ドリフト等に参戦しています。

俺たちの夏！ 自動車整備科 2年 大橋健太



左：栗野君 右：大橋君

私は、今回の夏休みが人生で最後の長期休暇になると思い、何かやってやろうと、旅の目的地を沖縄県にしました。

京都、奈良、大阪、岡山、香川、徳島、高知、広島、宮崎、鹿児島と周り、日本文化や歴史に触れ、各地の名物もたくさん食べました。特に香川の讃岐うどんが1番のお気に入りです。

全行程10日間、移動距離約4千キロ、夜は車中泊やマンガ喫茶などで過ごし、少しハードでしたが良い思い出となりました。



友人と二人で車に乗り込み出発したのですが、車にETCを付けずに行ったことが大きな誤算でした。金銭的にキビシかったので、沖縄行きは諦め、また高速道路もほとんど使用せずに、一般道でひたすら鹿児島県を目指しました。

LETTER from 卒業生
H14年度 卒業
永井オート勤務
永井 由梨子さん



研究科7期を卒業し、カーラ山形に就職しました。就職直後、私はBP工場に配属されました。在学中に学んだ基礎を基に約3年半の間、塗装作業に従事してきました。

就職してからは学生の時とは違った様々な事を感じてきました。『基本がなくては応用が利かない』、仕事を進めていく上では様々な人の助けが必要である事。『その人間関係を築く第一歩がしっかりと挨拶』です。

現在は実家に戻り父親と共に整備作業を行っています。最近になり塗装設備を整え塗装業も立ち上げました。現在は品質の向上を意識し、お客様に満足してもらえるよう努力を続けて頑張っています。

